

環境チェックレポート

(1) プロジェクト名

水力発電プロジェクト

(2) 実施場所

インドネシア共和国 西ジャワ州

(3) プロジェクト概要

水力発電所の建設・運営を行うもの

(4) カテゴリ分類

カテゴリ「B」

(5) カテゴリ分類の根拠

本事業は、環境ガイドラインに掲げる水力発電、ダム、貯水池セクターのうち大規模なものに該当せず、影響を及ぼしやすい特性を持つものの、環境への望ましくない影響は重大ではないと判断されるため。

(6) 環境許認可

本件の環境配慮については、当局により承認されている旨、確認されている。

(7) 汚染対策

大気質・騒音・水質及び水位について、現地基準に沿った適切な対応計画を策定している。

(8) 自然環境面

本プロジェクトサイトに保護区は存在しない。

(9) 社会配慮面

本プロジェクトにより住民移転が発生するが適切な配慮がなされている。

(10) 適用国際基準

IFC パフォーマンススタンダード

(11) その他・モニタリング

本件では、大気質・騒音等についてモニタリングを行う予定。

以 上

質問事項

質問1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

プロジェクトサイトの住所: インドネシア共和国西ジャワ州チアンジュール県および西バンドン県

質問2. プロジェクトの内容について簡単に記入して下さい。

インドネシア共和国(以下、「イ国」)ジャワ島チタルム川の既設サグリン発電所(700MW)およびチラタ発電所(1,024MW)の間に存在する約30mの未利用落差を用い、最大出力47MWの流込式水力発電所(最大使用水量168m³/sec)を建設し、完工後30年間にわたりインドネシア国営電力会社に売電を行うBOOT案件

質問3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既に実施しているものですか?既に実施しているものの場合、既に行われているプロジェクトは現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか?

新規 既往(苦情等あり) 既往(苦情等なし) その他()

質問4. プロジェクトに関して、環境影響評価(EIA、EIS等)はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。必要な場合、実施または計画されていますか?

要(実施済) 要(実施中・計画中) 不要
 その他()

質問5. 環境影響評価を既に実施されている場合、環境影響評価はプロジェクトを実施する国の環境影響評価制度等に基づき審査・承認を受けていますか?既に承認されている場合、承認年月、承認機関について記載して下さい。

承認済み(附帯条件なし) 承認済み(附帯条件あり) 審査中
 その他()

(承認年月: 承認機関:)

質問6. 環境影響評価以外の環境に関する許認可が必要な場合、その許認可名を記載して下さい。また、当該許認可を取得済みですか?

取得済み 取得必要だが未取得 取得不要 その他()

(許認可名: 環境管理計画(UKL)および環境モニタリング計画(UPL))

・推薦状発行日: 発電所 2012年1月4日、送電線 2011年12月20日

・推薦状発行元: 発電所 西ジャワ州 環境管理局、送電線 チアンジュール県環境局

質問7. 現時点でプロジェクトを特定できない案件(例: 特定プロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース、承諾時にプロジェクトを特定できないツーステップローン等)ですか?

(Yes/No)

Yesの場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
Noの場合、質問8以下にお答え下さい。

質問8. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

(Yes / No)

Yesの場合、該当するものをマークして下さい。質問9以下にお答え下さい。
Noの場合、質問9以下にお答え下さい。

- (1) 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）
- (2) 原生林、熱帯の自然林
- (3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟等）
- (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- (8) 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域、もしくは特別な社会的価値のある地域

質問9. プロジェクトにおいて以下に示す特性が予定されていますか？

(Yes / No)

Yesの場合、該当する特性の規模を記載して下さい。また、質問10以下にお答え下さい。
Noの場合、質問11以下にお答え下さい。

- (1) 非自発的住民移転 (規模: 約60人)
- (2) 地下水揚水 (規模: m³/年)
- (3) 埋立、土地造成、開墾 (規模: ha)
- (4) 森林伐採 (規模: 約40ha)

質問10. プロジェクトを実施する国の環境影響評価制度において、上記(1)～(4)に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境影響評価を実施する根拠になっていますか？

- 根拠となっている 根拠となっていない
- その他 ()

質問11. 総プロジェクトコストに占める国際協力銀行または日本貿易保険支援割合が、5%以下または支援額が10百万SDR相当円以下ですか？(既往の同一プロジェクトへの追加支援の場合は累積額とする。)

(Yes / No)

Yesの場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
Noの場合、質問12以下にお答え下さい。

質問12. 環境影響が軽微なもしくは悪化が予見されないプロジェクト(例: 既存設備のメンテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得)に該当しますか？

(Yes / No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

質問 13. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

(Yes) / (No)

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 14 にお答え下さい。
No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- (1) 鉱山
- (2) 石油・天然ガス開発
- (3) パイプライン
- (4) 鉄鋼業（大型炉を含むもの）
- (5) 非鉄金属製錬
- (6) 石油化学（原料製造。コンビナートを含む）
- (7) 石油精製
- (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- (9) 紙、パルプ
- (10) 有害・有毒物質製造・輸送（国際条約等に規定されているもの）
- (11) 火力発電
- (12) 原子力発電
- (13) 水力発電、ダム、貯水池
- (14) 送変電・配電（大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの）
- (15) 道路、鉄道、橋梁
- (16) 空港
- (17) 港湾
- (18) 下水・廃水処理（影響を及ぼしやすい特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの）
- (19) 廃棄物処理・処分
- (20) 農業（大規模な開墾、灌漑を伴うもの）
- (21) 林業、植林
- (22) 観光（ホテル建設等）

質問 14. プロジェクトの規模（概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等）について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

本プロジェクトは、最大出力 47MW、最大使用水量 168m³/sec、有効落差約 31m の流込式水力発電所であり、年間発生電力量は約 180GWh を計画している。